

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	音楽劇
----	----	----	-----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえりかつどうほうじんみらまーれオペラ 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラ		団体ウェブサイトURL www.miramareopera.com	
代表者職・氏名	理事長・松山郁雄			
制作団体所在地	〒 223-0053	最寄り駅(バス停)		
	神奈川県横浜市港北区綱島西2-2-12プリオール綱島式番館503			
電話番号	045-530-8350			
ふりがな 公演団体名	みらまーれオペラ ミラマーレ・オペラ		団体ウェブサイトURL www.miramareopera.com	
代表者職・氏名	芸術監督・松山郁雄			
公演団体所在地	〒 制作団体に同じ	最寄り駅(バス停)		
	制作団体に同じ			
制作団体 設立年月	2008年10月			
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長・松山郁雄 理事・樋本英一 理事・馬場紀碧 監事・米村桐子		指揮者、演出家、ピアニスト。歌手はオペラを専門とする歌手をオーディション採用。経験と実力を有し自分の達成感のためだけでなく聴衆のための演奏姿勢を常に保てる者。	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	松山郁雄	
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	米村桐子	
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	ikuo@miramareopera.com			

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>平成18年1月19日 有限会社ミラマーレ・ムジカ設立</p> <p>平成20年10月15日 特定非営利活動法人ミラマーレ・オペラに組織変更、現在に至る</p> <p>平成24年度より令和元年度まで京都芸術劇場春秋座においてオペラ制作業務を受託。これまでに「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「セヴィリアの理髪師」「椿姫」「カルメン」「魔笛」を制作上演。</p> <p>令和5年度、令和5年度文化芸術による子供育成推進事業(芸術家の派遣事業)で横浜市教育委員会との連携により横浜市内の小中学校への芸術家派遣を行う。今年度も継続中。</p> <p>平成27年度に本事業(学校巡回公演)の初採択を得て現在に至る。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆平成17年 東京都江東区立東陽小学校でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。 ◆平成22年 長野県北信地区高校音楽鑑賞会でオペラ「愛の妙薬」日本語訳詞上演。 ◆平成28年11月28日 君津市市民文化ホールにおいて翔凜中学高等学校の芸術鑑賞会で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート。 ◆平成29年8月24日 えりも町立えりも中学校で「椿姫」と「愛の妙薬」のハイライト・コンサート。 ◆平成30年2月15日 春日部市民文化会館にて春日部共栄中学高等学校芸術鑑賞会でオペラ「カルメン」を上演。 ◆平成27年度～令和6年まで10年間、本事業に連続採択。全国の小中学校で本応募作品のオペラ「てかがみ」を上演。 ◆令和3年6月30日 八王子J:COMホールで八王子学園の芸術鑑賞会としてオペラ「カルメン」を上演。 ◆令和4年8月28日 成田高校芸術鑑賞用としてオペラ「カルメン」の映像収録(コロナ対策版) 			
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>今年度10月28日に山梨県立高等支援学校桃花台学園で応募作品であるオペラ「てかがみ」の実施を予定しています。今年度9/26(木)に開催したワークショップでは軽度の知的障害の生徒に対して適切で効果的と評価を頂き、成果を上げる事ができました。</p> <p>昨年度までの公演においても、支援学級の生徒さん達も問題なく積極的な参加をして頂いています。体育館のステージ前に設置する特設ステージ(約90センチ高)の両サイドは体育館の床面をそのまま使用するので、車椅子や松葉杖使用の生徒さんも問題なく参加が可能です。</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://www.youtube.com/watch?v=yM1nU7WX5Ao</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>不要</p>	
		<p>PW:</p>	<p>不要</p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 ミラマーレ・オペラ】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	日本語上演の本格的なオペラを体験！ オペラ「てかがみ」			
企画のねらい	<p>a.ワークショップと本番を通じてオペラという舞台芸術により深く興味を持ってもらいたい。プロの歌手と同じ舞台に立つという体験の中で「身体という楽器」は限られた人だけではなく、誰もが無限の可能性を秘めていることを体感してもらいたい。</p> <p>b.戦争や被爆を経験した80年前(昭和20年)と、そこから目覚ましい発展を遂げた現代日本。同じ国の二つの時代を比較し、知る事でより一層この国の近代史に関心を持ってもらいたい。</p> <p>c.長年に渡り舞台制作に携わっている、キャストやスタッフと共同して一つの作品を作り上げるプロセスを肌で感じてもらいたい。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>一般的に鑑賞の機会が少ない「オペラ」という総合舞台芸術を通じて、児童生徒や教員、保護者の皆様に「戦争を経験した昭和という時代を次の世代に伝える」と言うメッセージをお届けしたいのです。</p> <p>この作品は80年前の日本が経験した戦争の事実を基に人間の愛と尊厳、日本人の素晴らしい気質を明瞭に伝えています。オペラはヨーロッパ伝統の舞台芸術ですが、池辺晋一郎作曲によるこの作品はまさしく「メイド・イン・ジャパンの歌劇」です。磨き抜かれたオペラ歌手達の歌声により日本語で歌われるこの作品を、是非とも味わって頂きたいと願います。</p> <p>別添1<オペラ「てかがみ」のあらすじ></p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>ストーリー上でも学校の生徒役として、担任の女性教師の結婚披露宴式にお祝いの歌を届けに来るという設定で出演して頂きます(3つのシーンがありますので、シーン毎に別の生徒さんでの構成も可能です)。その他に戦時中のシーンでは疎開に行く子供達、労働をする子供達などの役でも出演して頂きます。</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	20人～60人	
		鑑賞人数目安	400名程度(体育館の大きさにもよります)	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペラ「てかがみ」 作曲:池辺晋一郎 台本:平石耕一 演出:三浦安浩 参加生徒が踊るダンスの振付:三浦奈綾 学校公演版の構成:松山郁雄</p> <p style="text-align: right;">公演時間 凡そ90分</p>			
出演者	<p>ソリスト(歌手)9名 役者1名 合唱8名 オーケストラ6名 指揮者1名 計25名</p> <p>別添2<出演者氏名について、別紙メンバー表></p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p><メインキャスト>藤井研(ソプラノ):東京藝術大学卒業。同大学院修士課程博士後期課程修了、音楽博士号取得。大学院アカンサス音楽賞、三菱地所賞音楽部門受賞。よんでん文化振興財団奨学生。第28回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。</p> <p><指揮者>樋本英一:指揮者として東京藝術大学指揮科在学時に安宅賞を受賞。日本オペラ振興会オペラ研修所、二期会オペラ研修所各講師。日本語の扱いにおいて非常に評価の高い指揮者。</p> <p><演出家>三浦安浩:国立音楽大学、メリーランド大学大学院修了。新国立劇場「セルセ」で演出家デビュー。近年の代表作として金沢市共催「禅～ZEN」、静岡県民オペラ「イリス」など。現在、桐朋学園大学大学院特別招聘講師。</p>			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 25 名	運搬	積載量: 4 t	
	スタッフ: 15 名		車長: 8 m	
	合計: 40 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み		無	前日仕込み所要時間		時間程度		
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	8:00	8:00~10:00		13:30~15:20	10分	15:30~17:30	17:45	
	※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。							
本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認 します。(大幅な変更は認 められません)	6月		7月		8月		9月	
	0日		0日		0日		19日	
	10月		11月		12月		1月	
	22日		18日		15日		0日	
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					計		74日
公演に係るビジュアル イメージ (舞台の規模や演出が わかる写真) ※採択決定後、図 面等の提出を願 います。	写真上: 体育館の使用状況が解る仕込み中の全景写真 写真左下: 生徒参加によるフィナーレ大合唱のシーン。 写真右下: 生徒参加による昭和20年の学童疎開のシーン。							
								
								
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否		該当あり		該当コンテンツ名		作品全曲について	
	該当事項がある 場合		権利者名 池辺晋一郎 (日本音楽著作権 協会)		許諾確認状況		使用(上演)許諾取付済	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

【公演団体名 **ミラマーレ・オペラ** 】

ワークショップのねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌手の歌声を間近で聴いてもらう事でオペラ歌手の鍛錬は、大きな声ではなく良く響く声を探求している事、カラダという楽器を正しく使って声を出している事を知ってもらう(ミニ・コンサート)。 2. 合唱や振付の練習を通して表現する事の楽しさを体感してもらう(実技指導)。参加する生徒が劇中でどんな役柄を担うかを知り、登場人物になり切る事の楽しさと難しさを「オペラ」という演劇形態の中で感じ取ってもらう(模擬リハーサル)。 3. 繰り返し練習をして技術や表現力を身につける事は、日頃の学習姿勢にも共通する事をワークショップを通じて学習してもらう(反復練習の大切さを知ってもらう)。 		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	20人から60人程度が理想。
ワークショップ実施形態及び内容	<p>標準:110分</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌手とピアニストによるミニ・コンサート。参加生徒の目前で名曲を3曲程度を演奏。生徒の感想発表と、歌手には声の出し方や歌い方のワンポイント・アドバイスを発言してもらう。(15分) 2. オペラ「てかがみ」で参加生徒に歌ってもらう合唱部分の指導をおこなう。(10分) 3. 演技表現の基本的指導と歌唱に伴うダンスの振付を練習を行う。(15分) 休憩(10分) 4. オペラ「てかがみ」のあらすじと参加生徒が担う役どころ、登場シーン等の説明を行う。(15分) 5. 生徒出演の3シーン毎に生徒を割り振って立ち位置を決め、登場のタイミングや導線を確認をする。同時に演技的表現や決められたセリフの言い方を練習する。 6. 登場から退場を一連の流れで実践し、本番当日の午前中に行う最終リハーサルに結びつくように締めくくる。(5と6で45分) <p>写真左:合唱指導に続いて歌にシンクロしたダンスの振付を指導。 写真右:ミニコンサートで生の歌声を聴いた後に生徒が感想を発表。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<ol style="list-style-type: none"> 1. ワークショップまでに練習しておいて頂きたい内容をまとめた資料(作品の概要説明、譜面とパート別の模範演奏を収録した練習用DVD)を事前に送付します。実際にワークショップを体験する事で自分の役割がリアルになり、本番に向けて登場シーンのイメージがより明確になります。 2. 歌唱が苦手な生徒さんも積極的に参加が出来るよう、疎開する子供達役(約15人)と労働者に交じって荷物を運ばされる子供達(5人)など、演技で参加する重要なシーンも設定してあります。 3. 体育館のステージ前のフロアに幅5.4m×奥行3.6m×高さ0.9mの特設舞台を設置しますが、その両脇のフロアも演技スペースとなるので車椅子や松葉杖での参加も問題ありません。 4. 出演する生徒さんは客席の(舞台に向かって)右側に待機し、出番の時以外はその位置で鑑賞をして頂けます。 		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
本事業への応募理由	【公演団体名 ミラマーレ・オペラ 】
<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢</p> <p>a.弊団は、これまでに実力あるオペラ歌手を起用し「小劇場における多数回の公演」(オペラ界では希有な公演パターン)を実践して成果を上げてきました。鍛え抜かれたオペラ歌手の声と同時に、歌役者として繊細な演技・表現もしっかりと観客に伝える事に主眼のおいた活動をしてきました。体育館での公演は観客との距離も近く、小劇場での公演と共通点も多いので、歌声と共にきめ細やかな表現も楽しめるオペラ鑑賞には最適な環境と考えています。</p> <p>b.この事業は芸術鑑賞の機会を得た児童生徒にとって貴重な経験である事は言うまでもありませんが、同時に若手オペラ歌手が、素直で感受性豊かな最高の聴衆(児童生徒)の前で演奏できる機会(即ち若手オペラ歌手にとって研鑽と成長の絶好の場)ともなり得る事に、この事業のもう一つの重要性を強く感じています。</p> <p>c.義務教育課程で本物の文化芸術を体験する事は、児童生徒にとって人生の方向性をも左右する程重要と考えます。鑑賞する生徒達が舞台芸術自体に興味を持って頂く事は我々にとって大変に嬉しいことですが、それ以上に義務教育課程終了後は文化芸術全般に触れる機会が皆無になってしまう児童生徒達のためにも、一生涯心に残るような上質な舞台総合芸術を体験して欲しいと願っています。</p> <p>d.オペラは長期間の訓練で培った歌手の歌声で創成される舞台芸術です。ワークショップを経て本番当日には、参加生徒もプロのオペラ歌手と一緒に舞台上に立ち、一生忘れる事のできない貴重な体験をしてもらえる事に大きな意義と喜び、責任を感じています。</p> <p>e.全キャストとスタッフには、児童生徒はもちろん、教職員や保護者の皆様に対してもきちんとした挨拶や積極的なコミュニケーションをとる事、優れた演奏者や技術スタッフである前に、一人の人間として礼節と優しさを兼ね備えた行動をとれるよう、団体としての指導を徹底しています。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</p> <p>a.学校との連絡が可能になって以降、電話とメールを活用して担当の先生と密に連絡を取り合い、参加生徒数や参加シーンの事、ワークショップまでの準備項目などを明確に伝えるようにしてゆきます。また備品の借用品もスムーズに行えるよう、事前連絡の徹底に心掛けています。終演後のゴミ集積と体育館床のモップがけ等、清掃作業と原状復帰は常に完璧に行うようにキャストとスタッフへの指導を徹底しています。</p> <p>b.担当教員が芸術鑑賞準備等に対して様々な不安をお持ちの場合も多々ありますが、事前の資料送付と密な連絡で、ワークショップと本番までの準備状況や生徒の練習の進捗状況について綿密なフォローを心掛けています。連絡内容はログとして保存しスタッフ間で共有するようになっています。</p> <p>c.作品概要の解説、模範歌唱と振り付け、ピアノ伴奏のみを収録した資料映像(DVDとyoutube映像)など、ワークショップ前後の練習に役立つ教材を提供できるよう準備しています。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	ミラマーレ・オペラ 】
項目内容	<p>別添1<オペラ「てかがみ」のあらすじ></p> <p><u>平成12年 新潟市内の結婚式場</u> 中学校教諭の武田亮子とアメリカ人の高校英語教師のジョンの披露宴が行われています。宴が始まって間もなく、会場で火災が起こります。炎を見た亮子の父の勇一は、これまで心の底に閉じ込めてきた55年前の空襲の辛い記憶を、突然思い出してしまいます。</p> <p><u>昭和20年の新潟港</u> 五歳の勇一は母カヨに手を引かれ、港で働く父の姿を見に来ましたが、母子の目の前で父親の乗る船が事故に遭い沈没してしまいます。ショックを受けて気絶したカヨを、アメリカ人捕虜で軍医のチャードが介抱します。 カヨは五歳の勇一と共に長岡に疎開する事になり、夫の形見の小さな手鏡を自分を介抱してくれた軍医リチャードに手渡してくれるよう、夫の親友の運送会社の杉本監督に託します。</p> <p><u>長岡市空襲跡</u> 8月1日の長岡大空襲を逃げ延びた五歳の勇一は、杉本監督と再会し、炎の中で母親を見殺しにしてしまった事を泣きながら告白します。杉本監督は「忘れる！心の底に沈めて誰にも言うな…」と抱きしめ、カヨの面影が残る勇一を自分の子どもとして育てる決意をします。 終戦を迎え帰国する事になった軍医リチャードは、勇一と杉本監督に「時は流れ、この子たちがこの国を担う！この時代にあった事を忘れないなら…」と言い残して日本をあとにします。</p> <p><u>平成12年 結婚式場</u> 亮子は、式場の火事がきっかけで思い出された父の辛く悲しい記憶を初めて耳にし、今まで父の苦しみにも気づかず教鞭をとってきた自分には、みんなから祝ってもらう資格などない！と披露宴の中止を申し出ますが、その時、父親の勇一が突然、リチャードの「この子たちがこの国を担う。この時代にあった事を忘れないなら…」という言葉を出したことから、リチャードがジョンの祖父であることが判明します。ジョンの母レイチェル(即ちリチャードの娘)は自分の母(リチャードの妻、劇中には登場せず)から渡された手鏡を亮子に渡すのですが、実はこの手鏡こそ、55年前に亮子の祖母カヨがリチャードに贈った「てかがみ」だったのです。亮子の祖母の手を離れアメリカに渡った手鏡が多くの人達の愛の力で再び日本人の手に戻った瞬間でした。披露宴は再開され、二人の希望に満ちた明日を全員で祝福して幕となります。</p>	<p>別添2メンバー表(計25名記載) <指揮者>樋本英一(フリー)</p> <p><ソリスト>武田勇一:大島嘉仁(フリー)、武田亮子:藤井冨(フリー)、 レイチェル:柚友恵子(東京二期会)、ジョン:川出康平(フリー)、会場係:内田雅人(フリー)、 高校の校長:片岡美里(藤原歌劇団)、武田カヨ:江口二美(福岡サンミュージック)、 リチャード:吉田連(東京二期会)、杉本監督:山岸玲音(フリー)、五歳の勇一:立直花子(フリー)</p> <p><合唱>:和久井恵津子(東京二期会)、山口なな(藤原歌劇団)、遠藤美紗子(藤原歌劇団)、 畑中達豊(フリー)、竹内篤志(フリー)、岩田健志(フリー)、平賀僚太(藤原歌劇団)、 藤本慶(フリー)</p> <p><オーケストラ>ピアノ:巨瀬励起(フリー)、ヴァイオリン:田澤明子(Strumusica)、 チェロ:横山二葉(Strumusica)、フルート:浅田紀希(Strumusica)、 クラリネット:平井哲夫(Strumusica)、打楽器:竹内美乃莉(Strumusica)</p>	